

図書館や書店に恵まれない

地域をサポート中

一般社団法人北海道ブックシェアリング/江別市

学校図書館の蔵書が少なかったり、自治体に書店がなかったり、読書環境に恵まれない地域をサポートしようと、2008年から活動を開始した北海道ブックシェアリング。読み終えた本の再利用をはじめ、商店街でお薦めの本を紹介し合う書評合戦の開催や、喜茂別町、妹背牛町、鹿部町、西興部村など書店のない地域に出かける「走る本屋さん」にも取り組みました。



移動図書館車両「やまびこ号」

現在はそのノウハウを生かし、道内各地の要望に応じて、約800冊の本をのせた移動図書館の出動、絵本カバー工作や古本を交換する図書イベントの開催など、本と人をつなぐ「ぶっくばーとなー」活動を実施。読書環境を向上させるための相談なども行っています。

絵本でまちおこしに成功した地域もあれば、なかなか新しい図書に更新できない学校があるなど、道内の読書環境の差は大きいですね。隣まちに図書館や書店があっても、車で1時間もかかれば、読書習慣は消えていきます。

本は、物語を楽しむだけでなく、自分の仕事につなげたり、人生や生活のヒントも教えたりしてくれるもの。どこに暮らしていても、本と出合える喜びを感じられるように、道内各地でサポートしたいですね。

▶お問い合わせ 北海道ブックシェアリング ☎(011)378-4195

ほっかいどう

未来への 元気遺産!

北海道を元気にする、人・もの・アイデアを紹介します。

本でつながる編

世界の絵本でニセコの

子どもたちと国際交流

インターナショナル・リーディング・プロジェクト/ニセコ町

海外からの観光客が多く、人口5,115人のうち33カ国の外国人378人\*が暮らすニセコ町。地域の国際化を進めるため、町職員にドイツ、米国、アイルランド、中国出身の国際交流員がおり、子どもたちへ日本語と外国語で絵本を読み聞かせる「インターナショナル・リーディング・プロジェクト」に取り組んでいます。

子どものうちから世界の言葉や文化の違いに触れてもらおうと、読み聞かせボランティアたちと協力し、学習交流センター「あそぶっく」や小学校などで活動を続けています。知る機会の少ないアイルランド語を学んだり、数カ国語で挨拶のできる子が増えたり、絵本を通して国際色豊かな地域づくりが進んでいます。\*ニセコ町調べ(2018年3月末現在)



あそぶっくでの読み聞かせ活動

本と出合える喜びを道内各地に広めたい。



北海道ブックシェアリング代表理事 荒井 宏明さん

絵本の読み聞かせを始めたのは、発展途上国で貧困な子育て環境にカルチャーショックを受けたのがきっかけ。世界にはいろいろな国があることを子どもたちに知ってほしい。絵本なら、絵の表情や色合い、言葉のリズムからも、その国の生活や文化が伝わると考え、帰国後、32年間ライフワークとして続けてきました。

ニセコ町に移り住んで9年。自宅の文庫にある22カ国の原書絵本をこのプロジェクトに役立てています。多国籍なニセコだからできる多言語による読み聞かせ活動だと思います。

▶お問い合わせ ニセコ町企画環境課 ☎(0136)44-2121

多国籍なニセコだからできる活動があります。



インターナショナル・リーディング・プロジェクトボランティア 本間 真由美さん (絵本作家)

北海道 150年

なるほど! 知るほど! 物語

北海道ならではの食の由来や知られざる歴史を紹介します。

大正時代から走る、国内唯一の石炭鉄道/釧路市

かつて北海道の発展を担った石炭産業。国内で坑内掘りを行っている炭鉱は、釧路の海底炭鉱のみです。1920(大正9)年に創業した太平洋炭礦は、最盛期には日本有数の採炭量を誇りました。2002(平成14)年の閉山後、優れた採炭技術を後世に残すため、海外への技術指導などを目的に、釧路コールマインが採炭業務を再開。その石炭を専用に運んでいるのが、1925(大正14)年に開通した臨港線(港湾地区を走る鉄道)で、いまでは国内唯一の石炭鉄道です。



石炭輸送専用列車

海面下約200mから採掘した石炭は、貨車24両(積載量720トン)に積み込まれ、港近くの貯炭場まで約4km運ばれています。その雄姿を春採湖の散策路から間近に見ることができます。

▶お問い合わせ 太平洋石炭販売輸送(株)釧路本社 ☎(0154)41-9155

当たる!

おいしい北海道

抽選で 30名様

(株)ケイシイシイ「ルタオ 小樽色内通り フロマージュ」(18枚入)をプレゼント!

次のアンケートに答えて道産品を当てよう!

- 8月号の中で興味を持ったのは、どの記事ですか。
- ①特集(みんなで支えよう!子どもの未来づくり)
- ②こんにちは!赤れんが ③おすすめ!地域から
- ④みんなの防災ガイド ⑤未来への元気遺産!
- ⑥なるほど!知るほど!物語

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

- 応募方法:アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。
- 応募期限:8月31日(金)必着 応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。
- 応募先:ハガキ 〒060-8588(住所不要) 北海道広報広聴課「当たる!おいしい北海道」係
- 携帯サイト
- パソコン 広報紙ほっかいどう 検索
- 掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。\*6月号のプレゼントには、3,397件の応募をいただきました。



北海道の人口	総人口	男	女
平成30年5月末	5,317,666人	2,511,562人	2,806,104人
前年同月比	34,447減	16,279減	18,168減

\*人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

次号のお知らせ 10月号は9月19日(水)に配布開始の予定です。

お詫びと訂正 2018年6月号の本紙中面記事「インパウンドの加速化と稼ぐ観光の促進」の「外国人来道者数の推移」に誤りがありましたので、次の通り訂正してお詫びします。 誤)2016年度 223万人 正)2016年度 230万人

広告

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。